

善福寺川上流地下調節池に関する説明会で頂いたアンケートについて

【頂いたアンケートについて】

※2日間で合計397名程度来場

開催日時・場所

第1回：令和8年4月17日（金）杉並区立西田小学校

第2回：令和8年4月18日（土）神田川・環状七号線地下調節池
（善福寺川取水施設）

説明会へのご来場、ご意見及びアンケートへのご協力ありがとうございました。
次ページ以降では、アンケートの回答や来場者の口頭での質問とそれに対する「回答及び都の考え方」を記載しております。

なお、類似の意見は集約させていただいております。

【参考資料】

◎令和6年9月5・6・8日に開催した説明会の資料 [こちら](#)

◎令和7年2月20・21・22日に開催した説明会の資料 [こちら](#)

◎令和7年11月20・21・22日に開催した説明会の資料 [こちら](#)

◎令和8年4月17・18日に開催した説明会の資料 [こちら](#)

※建設局HP「善福寺川上流地下調節池事業の整備について」より各説明会資料がご覧いただけます。

また、本事業の内容、よくあるご質問への回答については、以下URLをご参照ください。

ファクトシート : https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/kensetsu/zenpukuji_fact_v1

よくあるご質問 : https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/kensetsu/202511zenpukuji_qa

善福寺川上流地下調節池に関する説明会で頂いたアンケートについて

【目次】

【1】 整理番号のご記入があったご意見への回答

■ 1日目（4月17日） P. 3 ～ P. 40

(9) P. 3	(20) P. 4	(21) P. 5	(23) P. 6	(28) P. 7
(30) P. 8	(34) P. 9～10	(36) P. 11	(38) P. 12	(48) P. 13
(49) P. 14	(62) P. 15	(63) P. 16	(64) P. 17	(71) P. 18
(74) P. 19	(82) P. 20	(86) P. 21	(87) P. 22	(89) P. 23
(98) P. 24	(102) P. 25～26	(104) P. 27	(108) P. 28	(121) P. 29
(123) P. 30～36	(139) P. 37～38	(350) P. 39～40		

■ 2日目（4月18日） P. 41 ～ P. 64

(206) P. 41～42	(221) P. 43	(227) P. 44	(228) P. 45	(232) P. 46
(261) P. 47	(258) P. 48	(273) P. 49	(298) P. 50	(328) P. 51
(335) P. 52～53	(343) P. 54～56	(349) P. 57	(350) P. 58～59	(351) P. 60
(361) P. 61	(363) P. 62～64			

【2】 整理番号のご記入がなかったご意見への回答

■ 1日目（4月17日） P. 65 ～ P. 80

■ 2日目（4月18日） P. 81 ～ P. 84

※なお、整理番号をご記入いただいた方には、整理番号ごとに回答しております。

【工事に関する問い合わせ窓口】（平日9:00～17:00）
受注者 鹿島・大成特定建設工事共同体
善福寺上流地下調節池JV事務所 080-1333-3690

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号（9）

主な意見

- ◆ 工事について賛成してる人ばかりではない事。
今、行われている工事だってものすごい時間がかかった。緑豊かで静かな公園がまた失われると思うと大好きな公園との私の人生に対して土足でふみつぶされたような気分です。残念すぎる。くやしいです。

回答および都の考え方

- ◆ 本工事において、住民の皆さま方にご不便・ご不安をおかけし申し訳ございません。
引き続き、地域の皆様のご理解を得られるように丁寧な説明、情報発信に努めてまいります。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1日目 整理番号（20）

主な意見

- ◆ 善福寺川緑地の自然保護（特に桜の木）について、川沿いの桜が多く切られてしまうようです。工事後の新たな植樹なども、関連部署と連携いしてお知らせください。

回答および都の考え方

- ◆ 工事完了後の復旧方法については、公園管理者や杉並区と協議し、地域の皆さまのご意見も踏まえて検討していきます。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号（21）

主な意見

- ◆今回に限らず、説明会を開催する度に抗議活動と一緒にしましょうというチラシが郵便受けに入ってくる。そういう集団を避けるようにして説明会に参加している。杉並区には活動が好きな人が多く住んでいるので、この事業が計画通りに進むのか不安に思う。必要な事業だとは思いますが、かかる費用と時間を考えると何でもシールドで解決しようとするのが正しい方法なのかという疑問は消えない。

回答および都の考え方

- ◆川沿いにビルや住宅が立ち並ぶ都心では、河道拡幅を伴う整備において、用地買収に当たり近隣の方々の協力を得ながら進める必要があるため、多くの時間を要します。
これに対し、トンネル式調節池は、道路下などの公共用地を活用して設置できることから、用地買収を最小限に抑えながら、水害に対する安全性を早期に向上できます。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号 (23)

主な意見

- ◆要望を言ったらきりはないが、長期間の工事になるので、住民との対応（寄りそった）は継続してほしい。
時代と共に、工時技術も進歩し、当初は解決できなかったものが可能になる場合もあるので、その時は柔なんに対処してほしい。
とにかく、工事現場と公園との調和を考慮し、なるべく景観に配慮していただくことを希望します。

回答および都の考え方

- ◆工事にあたっては、長期間・多様な工事を複数箇所を実施するため、施工時期や工事内容に適した「工事説明会を分割」し、複数回開催することとしております。事業などの全体の内容については、過去の説明会資料をご確認ください。

[URL:https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/river/chusho_seibi/zenpukuji](https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/river/chusho_seibi/zenpukuji)

引き続き、地域の皆さまへ配慮しながら、新技術も踏まえ柔軟に対応してまいります。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号 (28)

主な意見

- ◆機会をもうけていただきありがとうございます。
水害が最近多いので、大事なトピックだと思います。

回答および都の考え方

- ◆引き続き、地域の皆様のご理解を得られるように
丁寧な説明、情報発信に努めてまいります。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号（30）

主な意見

- ◆不安を軽減いただくためには過去の類似工事との貴同などに基づいて、説明できよう人員を増やしていただけるとより安心につながると考えます。
古川、矢荻川など住宅地での比較的狭い道路の下にシールドマシンを繋いだ工事の先例万が一、懸念が生じた時には、業政責任を過度に住民に変えることなく、丁寧に対応いただくことを期待します。

回答および都の考え方

- ◆施工にあたっては、現地の地盤調査等を綿密に実施するとともに、トンネル掘進時の泥水圧や排土管理、地表面のモニタリング等を適切に行い、安全管理を徹底いたします。
また、外環の事故等の事例も踏まえ、より安全・安心に工事を進めていきます。
工事に関して気になることがあれば、【工事に関する問い合わせ窓口】（平日9:00～17:00）までご連絡ください。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号（34）－①

主な意見

- ◆当事業には、反対します。
説明は聞きましたが、反対です。
わざわざ五日市街道の下を空洞化する必要はない。
成田西2丁目・3丁目エリアは浸水で困るエリアとは言えないから。過去の浸水でもこのエリアでは床下浸水すらしていない。ハザードマップ内で危険エリアとされている場所に住んでいる人は、「その人たち」「個人」の問題です。すでに開始されている護岸工事で少しずつ川の流れも調整できるのだから、わざわざトンネル（調節池）を掘る必要はないのです。後世に「負の遺産」を残すこともナンセンスです。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号 (34) - ②

回答および都の考え方

◆ 神田川流域における豪雨対策は、神田川流域豪雨対策計画等に基づき、雨水流出抑制対策や、下水道の内水氾濫対策、河川の洪水対策など、各主体が連携して総合的に取り組んでいます。具体的には、流域自治体等は、雨水の流出を抑制するために、雨水貯留施設や浸透施設を設置する等の流域対策を進めています。

下水道は、河川の流せる能力にあわせて、下水道の整備を行うとともに、雨水の流出抑制などを進めていくことで、河川への負荷を低減する等の対策を行っています。

河川は、時間50mmまでの降雨は川を拡げたり、深くすることで、時間50mmを超える降雨は調節池と流域対策で対応することとしています。

その方針に基づき、河道や調節池等の整備による洪水対策を着実に進め、川で流せる能力を向上させることで、地表面や下水道から流入する洪水を下流に安全に流す対策を行っています。

本調節池等の整備など河川の整備が進むことで、河川からの溢水被害を防ぐとともに、下水道の放流量を段階的に増量することができることから、内水被害の軽減にも効果が期待できると考えています。詳しくはこちらをご覧ください。

URL:https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/kensetsu/202603zenpukuji_fact

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号 (36)

主な意見

- ◆ 工事が遅延する場合で、工事内容・工程などが変更になるときの、対応・公表方法などがわかりません。
→ コロナ等による工事（工期）の変更の場合、工費増加等による設計変更、工程の変更の場合。

回答および都の考え方

- ◆ 事業費および事業期間の変更については、東京都ホームページに掲載いたします。
URL: https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/river/chusho_seibi/zenpukuji

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号（38）

主な意見

- ◆ 説明係の皆さんの御苦勞が察せられます。
ありがとうございました。

回答および都の考え方

- ◆ 引き続き、地域の皆様のご理解を得られるように丁寧な説明、情報発信に努めてまいります。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号（48）

主な意見

◆成田西〇〇に住んでいる〇〇〇〇です。家屋調査をお願いできますか？

回答および都の考え方

◆原則、工事の影響範囲内の家屋が調査対象となりますが、工事中、気になる場合は【工事に関する問い合わせ窓口】（平日9:00～17:00）までご連絡ください。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号（49）

主な意見

- ◆事業に反対する考えはありません。
ただ、五日市街道沿道に住むものとして、ダンプの長期にわたる通行は心配です。
沿道の方々もそのことを相当心配しています。
それによって反対運動が盛り上がるのはどうかと思っています。
しっかり対策を講じて、ていねいな説明対応を強く望みます。

回答および都の考え方

- ◆地域の皆様のご理解を得られるように丁寧な説明、情報発信に努めてまいります。
今後、発進立坑工・シールド工の施工方法がまとまり次第、改めてご案内いたします。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号（62）

主な意見

- ◆ これまでの洪水被害について、問題意識を持って治水対策を考慮すべき。安易な地下調節池を提案するのではなく、善福寺川上流部にとって、代替案を比較検討すべきである。都民の意見を聞き、都民と協働して治水対策を講じるという基本理念を基に、直ちに、工事を中止して、より良い方策を実行して行こうではありませんか。公共工事は、少数の意見ではなく、多数の意見を求めるべきです。地域住民の中に、数多くの有識者がいる事をおわすれなく。

回答および都の考え方

- ◆ 都では、東京都豪雨対策基本方針に基づき、河川や下水道や浸透ます、一時貯留施設などの雨水の流出を抑制する流域対策を合わせた総合治水対策を進めることで豪雨に対応していきます。そのうち、河川の洪水対策としては、1時間当たり50mm規模の降雨に対応できる河道を基本として、それを超える部分の対策は、調節池等と流域対策を組み合わせ対応していくこととしています。なお、本工事では、段階的な説明会を実施し、皆様からの意見を伺うよう取り組んでおります。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号（63）

主な意見

- ◆ この大工事の必要性が、公園の緑を破かいしてまでも、10年以上をかけてする力ちがあるのか？

回答および都の考え方

- ◆ 神田川流域における豪雨対策は、神田川流域豪雨対策計画等に基づき、雨水流出抑制対策や、下水道の内水氾濫対策、河川の洪水対策など、各主体が連携して総合的に取り組んでいます。具体的には、流域自治体等は、雨水の流出を抑制するために、雨水貯留施設や浸透施設を設置する等の流域対策を進めています。
下水道は、河川の流せる能力にあわせて、下水道の整備を行うとともに、雨水の流出抑制などを進めていくことで、河川への負荷を低減する等の対策を行っています。
河川は、河道や調節池等の整備による洪水対策を着実に進め、川で流せる能力を向上させることで、地表面や下水道から流入する洪水を下流に安全に流す対策を行っています。
本調節池等の整備など河川の整備が進むことで、河川からの溢水被害を防ぐとともに、下水道の放流量を段階的に増量することができることから、内水被害の軽減にも効果が期待できると考えています。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号（64）

主な意見

- ◆ 最近の気候変動でこういった工事は必要かと思いますが、公園がなくなる事に不安を感じ、今回の説明会にきました。
周辺住民の方の反応も気になっていました。会場の係の方がとても丁寧に対応されているのが印象的でした。

回答および都の考え方

- ◆ 引き続き、地域の皆様のご理解を得られるように丁寧な説明、情報発信に努めてまいります。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号（71）

主な意見

- ◆ 地下を空洞化することで水害以外の災害に耐えうるのか、災害対策として本事業が最善策とは思えなかった。緑や広場をなくし、建物に変えるのは昭和の発想である。一度無くした自然を元に戻すのは100年以上かかる。多額の費用を掛ける事業であればこそ、維持管理も視野に入れ再考を要望する。

回答および都の考え方

- ◆ 今回設置する施設は、地震に対して安全であるよう設計しております。川沿いにビルや住宅が立ち並ぶ都心では、河道拡幅を伴う整備において、用地買収に当たり近隣の方々の協力を得ながら進める必要があるため、多くの時間を要します。これに対し、トンネル式調節池は、道路下などの公共用地を活用して設置できることから、用地買収を最小限に抑えながら、水害に対する安全性を早期に向上できます。維持管理については、神田川・環状七号線地下調節池を参考としております。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号（74）

主な意見

- ◆ 工事を始める時に現場に白い囲いが建てられますが、白ではなく樹木に同化するようなデザインのものを建てて欲しい。善福寺川沿いは、いつも工事現場もろ出しにの状態になっていて、景観を甚だしく悪くしています。もう少し、心が和む囲いにしてほしいですね。散歩がたのしめるような。観測所も味気ないものではなく、子どもたちの興味を引くデザインのものが良いなあ。と言って、この工事に全面的に賛成している訳ではなく、もっと良い治水の方法があるとよいと願っていますが…。

回答および都の考え方

- ◆ 仮囲いについては、デザイン、色など地域の皆さまの意見も参考に選定していきます。
管理棟のデザインのご要望については、公園管理者や杉並区と協議し、地域の皆さまのご意見も踏まえて検討していきます。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号（82）

主な意見

- ◆ 本日は説明会ありがとうございます。
近所での説明会が別会場（例えば杉二小など）であると参加しやすいと思いました。また、賛成したつもりなのに工事が決定しているのはどうしても解せないです。
健康被害、建物被害が河川の氾濫より、ひどいことにならないよ、心より祈るばかりです。今からでも工事を考えなおしてほしいです。よろしくお願いします。

回答および都の考え方

- ◆ 説明会の場所や運営方法については、引き続き、会場となる施設管理者と協議してまいります。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1日目 整理番号（86）

主な意見

- ◆ 当日聞いたのですが、回答がなかったので、今回聞きますが、この辺りの水位はどのくらいでしょうか？
また騒音レベル、振動のレベルはどれくらいのものなのか教えてもらいたい。

回答および都の考え方

- ◆ 西田橋（水位観測所）の平常時水位は、A.P.+36.4mとなります。
工事に際しては、防音ハウスや防音壁などを設けて、低騒音・低振動の機械を使用し、法律や条例で定められた規制値を遵守していきます。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号（87）

主な意見

- ◆説明不十分。
家屋調査対象者全てを集め説明会をやること。
個別訪問は嫌です。

回答および都の考え方

- ◆家屋調査は、建物ごとの状況や構造を踏まえながら実施する調査です。また、調査項目や手法の説明についても、実際の建物の状況を踏まえて説明することから、説明会形式ではなく、各戸ごとに内容をご説明し、ご意見を伺いながら実施してまいります。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号（89）

主な意見

- ◆ 今回も説明不十分。
個別でなく、座っての説明。今後考えられる危険な事等の説明希望。

回答および都の考え方

- ◆ 今回のようなオープンハウス形式の説明会は、
 - ① 幅広い時間で多くの方に参加してもらうこと
 - ② 参加者からのご質問についてより丁寧に回答ができることから、過去の実施事例でも参加者の満足度が高いものとなっています。
来場者の中には事前に聞きたいことをメモして来場した方もいて、そのような方々の個別の質問に一つ一つ丁寧に答えできたと考えています。
今回の準備工事における安全対策については、工事説明会資料をご確認ください。
URL:<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/kensetsu/2026-04-14-191615-430>
また、今後の安全対策については、次回の説明会にてご案内させていただきます。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号（98）

主な意見

◆ 着座式の影響のある家々への説明会を開いてほしい。

回答および都の考え方

◆ 今回のようなオープンハウス形式の説明会は、
① 幅広い時間で多くの方に参加してもらうこと
② 参加者からのご質問についてより丁寧に回答
ができることから、過去の実施事例でも参加者の満足度が高いものとなっています。
来場者の中には事前に聞きたいことをメモして来場した方もいて、そのような方々の個別の質問に一つ一つ丁寧に答えできたと考えています。
なお、家屋調査は、建物ごとの状況や構造を踏まえながら実施する調査です。
また、調査項目や手法の説明についても、実際の建物の状況を踏まえて説明
する必要があることから、説明会形式ではなく、各戸ごとに内容をご説明し、
ご意見を伺いながら実施してまいります。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1日目 整理番号（102）－①

主な意見

- ◆ 自転車がとめられず困りました。東京都の説明の方が男性ばかりでこわかった。
異動してすぐの職員が説明になっていて質問にこたえてもらえなかった。
樹木医の方が複数いるか否かとか数すら回答してもらえなかった。
全体の説明会の開催をお願いいたします。
こべつ訪問されるのがこわいという意見がありましたので、対応していただきたいです。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号（102）－②

回答および都の考え方

- ◆ 自転車の駐輪については、施設の利用規則に基づきに対応しているため、個別の事情による対応が難しいところです、何卒ご理解のほどよろしく願います。
- 説明者は、一定の基準や手順に沿って適切な対応を行うよう努めております。引き続き安心していただけるよう尽力してまいります。
- 今回のようなオープンハウス形式の説明会は、
- ① 幅広い時間で多くの方に参加してもらうこと
 - ② 参加者からのご質問についてより丁寧に回答
- ができることから、過去の実施事例でも参加者の満足度が高いものとなっています。
- 来場者の中には事前に聞きたいことをメモして来場した方もいて、そのような方々の個別の質問に一つ一つ丁寧に答えできたと考えています。
- なお、個別訪問を想定している家屋調査は、建物ごとの状況や構造を踏まえながら実施する調査です。また、調査項目や手法の説明についても、実際の建物の状況を踏まえて説明することから、説明会形式ではなく、各戸ごとに内容をご説明し、ご意見を伺いながら実施してまいります。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1日目 整理番号（104）

主な意見

- ◆ パネル式の説明会という形式、不便な場所にある小学校での開催、椅子も用意されていませんでした。
住民に対して本当に説明する気があるのか疑問に思います。

回答および都の考え方

- ◆ 今回のようなオープンハウス形式の説明会は、
 - ① 幅広い時間で多くの方に参加してもらうこと
 - ② 参加者からのご質問についてより丁寧に回答ができることから、過去の実施事例でも参加者の満足度が高いものとなっています。来場者の中には事前に聞きたいことをメモして来場した方もいて、そのような方々の個別の質問に一つ一つ丁寧に答えできたと考えています。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号（108）

主な意見

- ◆ 準備工のステップごとの説明は非常に分かりやすく、内容を正しく理解することができました。
一方で、善福寺川緑地公園の工事が既に約15年にわたり、今もなお柵で囲われている状況には、地元住民として大きなもどかしさを感じています。別工事である事情は理解していますが、一日も早く本来の公園の姿が見られることを切に願っています。
また、説明会において、職員の方に対し個人攻撃を行うような参加者がいたことは非常に不快に感じました。本来の目的から逸脱した要求や攻撃的な態度には、毅然とした態度で臨んでください。現場で尽力されている職員の方々が、守られるべき環境で職務にあたれるよう配慮をお願いします。

回答および都の考え方

- ◆ なかよし広場の一部については、今年度末に復旧し、仮囲いが撤去される予定です。
引き続き、地域の皆様のご理解を得られるように丁寧な説明、情報発信に努めてまいります。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号（1 2 1）

主な意見

- ◆家屋調査について、工事前、終了の2回ではなく定期的に行ってほしい。工事期間が10年以上という長期間にわたるため、その期間の定期観測は不可決だと思う。
10年以上の工事になると、世代交代、相続で世帯主が変わり、事情を知らない人が家主になる可能性が多いあるとともに、家の老朽化、経年劣化などと片付けられてしまう可能性もあるため、しっかり調査してもらいたい。定期的な調査においては、こちらからの発信ではなく、工事事業側からのお知らせ発信を強く望みます。
調査報告書は都度渡してください。

回答および都の考え方

- ◆調査は規則に基づき、事前及び事後の原則2回です。工事中に家屋の損傷が確認され、工事によるものと疑われた場合には、【工事に関する問い合わせ窓口】（平日9:00～17:00）までご連絡ください。なお、所有者のご要望に応じて、調査報告書はお渡しできます。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号（123）－①

主な意見

- ◆ 範囲外の家屋で事前調査を希望する家屋がどこに申込むか連絡先を作ってほしい。
- 工法初期の段階は、圧縮気体を送る手法なので、地下水の出力、既存井戸まわりには継続測定できる①酸素濃度＋②振動系を設置してほしい。特に公共施設（杉並第二小・ゆう杉並）は、データ公開して、工事の安全性を示してほしい。
- ①O2conc.と②vibのデータの相関で示してください。
- 井戸を持っている、地下室のある家屋が多い。こちらについても、①、②の測定機器の長期（工事中の）貸出をして下さい。
- 粉じんの測定→遊具回り、センター広場、ベンチ（屋根つき）は利用者が多い。健康を害しない数値だと安心している子供や人々が使えるように測定、公開場所を加えてください。

回答および都の考え方

- ◆ 原則、工事の影響範囲内の家屋が調査対象となりますが、工事中、気になる場合は、【工事に関する問い合わせ窓口】（平日9:00～17:00）までご連絡ください。
- 井戸や地下室に関しては、酸素欠乏症等防止規則第24条に基づき、対応させていただきます。
- 粉じん測定結果については、場所も含め工事ホームページに掲載いたします。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号 (1 2 3) - ②

主な意見

◆東京都におかれましては、本事業を「住民との対話」と「丁寧な説明」を基に進める方針と承知しております。しかしながら、工事完了まで15年を超える本事業は、住民の生活や資産に長期間の影響を及ぼす異例のものです。つきましては、単なる「工事完了後の現状復旧」という従来の枠組みを超え、住民が将来にわたり安心して暮らせるよう、以下の項目について東京都としての基本的方針をお示しくください。

< 調査・補償に関する基本的方針の問い >

1. 家屋調査の実施範囲と「対象外」への対応基準立坑から何メートルの範囲を調査対象としているか。

また、その範囲外であっても、地盤条件や家屋の構造、住民の不安に応じて調査対象に含める「柔軟な受付基準」を設ける考えはあるか、方針を示されたい。

2. 公共施設の優先的な安全確認

避難所や学校、福祉施設等の公共施設については、地域の安全拠点としての重要性に鑑み、個別の要望の有無に関わらず、都の主導で広範囲にわたり先行して調査・管理を行うべきと考えるが、都の見解を回答されたい。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号 (1 2 3) - ③

回答および都の考え方

◆ 1. 方針は以下のとおりです。

今回の説明会でお示しした家屋調査の調査対象範囲については、都の要領に基づき、工事区域に沿って約30mの範囲および、立坑中心から約75mで設定しています。約75mは、立坑の底面から45度線で算定しています。なお、大型・大深度地下構造物ケーソン設計マニュアル（令和7年4月 日本圧気技術協会）に基づき算出した立坑の影響範囲は、立坑中心から約57mとなっており、今回調査範囲の約75mはこれを上回っています。

2. 1 の範囲のとおりです。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号 (1 2 3) - ④

主な意見

◆ 3. 井戸・地下室家屋への特殊調査範囲

気泡漏洩や地下水への影響を考慮し、井戸や地下室を有する家屋に対しては、通常の家屋調査よりも広い範囲を対象とする「特別調査基準」を設ける方針はあるか。

4. 補償額の算出における実効性の担保

工事による損傷に対し、将来の物価高騰（資材費・人件費）を考慮してもなお、被害箇所を完全に復元できる金額を補償する「スライド制」などの算出方針はあるか。

< 長期工事に伴うモニタリングおよび特別補償の提案 >

5. 「経時的モニタリング（中間調査）」の実施

工事期間が15年以上に及ぶため、完了後の調査のみでは「工事の影響」と「経年劣化」の判別が困難になる懸念がある。主要な工程ごとに希望者の家屋を確認する「定期健康診断方式」の調査を導入されたい。

6. 工事期間中の「地域担当コンシェルジュ」の常設

事務的な補償窓口だけでなく、工事中の些細な変化や不安を気軽に相談でき、迅速に現地確認を行う「地域専任の担当者」を配置する考えはあるか。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号 (1 2 3) - ⑤

回答および都の考え方

- ◆ 3 .井戸や地下室に関しては、酸素欠乏症等防止規則第24条に基づき、対応させていただきます。
- 4 .工事に起因する損害であるかどうかを確認したうえで、工事によるものと認定された場合は現況復旧に係る費用をお支払いいたします。金額については、個別具体の状況や事象の内容に応じて、適切に算定してまいります。
- 5 .家屋の損害が確認され、工事によるものと疑われた場合は、まずは、【工事に関する問い合わせ窓口】（平日9:00～17:00）までご連絡ください。
- 6 .工事に関するお問い合わせは、【工事に関する問い合わせ窓口】（平日9:00～17:00）までご連絡ください。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号（123）－⑥

主な意見

◆ 7. 長期事業に伴う「特別補償」の検討

空港周辺整備事業等に類する超長期工事であることを鑑み、単なる物損補償に留まらず、防音対策の強化や、地域環境の維持・向上のための「特別補償」や「生活環境改善協力金」等の制度を創設されたい。

8. 地盤変動データの透明化と公開

住民が地域の安全を自ら確認できるよう、モニタリングデータ（地盤沈下計等）をいつでも確認できるような、透明性の高い情報共有の仕組みを構築されたい。

9. 双方向の対話の実効性

これまでの説明会での意見がどのように事業計画や補償方針に反映されたかを具体的に公表し、今後も形式に留まらない対話の場を継続されたい。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号 (1 2 3) - ⑦

回答および都の考え方

◆ 7.工事に当たっては、周辺への影響が最小限となる工法の選定や防音対策を施し、法令に則って進めていきます。工事中に気になる点がございましたら、**【工事に関する問い合わせ窓口】**（平日9:00～17:00）までご連絡ください。

8.工事ホームページに掲載いたします。

9.これまでの説明会の資料及び質問回答については東京都ホームページに掲載しており、情報を広く公開しております。
詳しくはこちらをご覧ください。

URL:https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/river/chusho_seibi/zenpukuji

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号（139）－①

主な意見

- ◆説明資料によると、善福寺川緑地での取水・排水施設工事が全く記載されていない。また、原寺分橋の工事内容や詳細が全く不明である。これらの全容が明確にならないければ、「善福寺川上流地下調節池工事」の目的や必要性を正しく判断することは出来ない。従って、先ずは全容を明確にした上で、説明会を開いて頂きたい。細切れの説明や工事会社毎の説明を聞いても正しく判断できず、意味がない。善福寺川周辺に住んでいる我々住民にとってはこれまでに整備された「環状七号線地下広域調節池」が完成したことで、安心＆満足しており、これ以上の環境破壊を伴う工事は望んでおりません。無駄な税金を使って環境破壊を行うことは止めましょう。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号（139）－②

回答および都の考え方

◆都では、事業や設計、工事に関する説明会等をこれまでに計**18**回実施し、事業内容等について説明してまいりました。その際、住民の皆様から頂いたご意見・ご質問に関する都の考え方について、ホームページに掲載するなど事業内容の周知に努めてまいりました。

環状七号線地下広域調節池は年超過確率**1/20**規模の降雨（区部では時間**75**mm）に対応する施設です。本施設が完成すると、複数流域間での貯留量の相互融通により、1時間あたり**100**mmの局地的かつ短時間の集中豪雨に対して、調節池の下流側に効果を発揮します。

このため、善福寺川上流域の浸水被害軽減のためには、善福寺川上流地下調節池の整備が必要です。

詳しくはこちらをご覧ください。

URL:https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/kensetsu/202603zenpukuji_factqa

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1日目 整理番号（350）－①

主な意見

- ◆ <https://www.change.org/p/杉並の緑豊かな自然を壊さないで-工事計画の再考を-善福寺緑地-関根文化公園-原寺分橋の湧水が潰されます。私は公園に居る人、子どものサッカーなどで手書きの署名もたくさん集めて> 合計20000筆以上集めました。
私達は反対している訳ではなく、地球や住民により良い環境で水害対策を東京都と検討したいという署名です。
一方的にシールド工法しかないというのは民主的でないと思います。
専門家を含めた住民と東京都の話し合いの場を設けてください。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号（350）－②

回答および都の考え方

◆ 都では、事業や設計、工事に関する説明会等をこれまでに計**18**回実施し、事業内容等について説明してまいりました。その際、住民の皆様から頂いたご意見・ご質問に関する都の考え方について、ホームページに掲載するなど事業内容の周知に努めてまいりました。

環状七号線地下広域調節池は年超過確率**1/20**規模の降雨（区部では時間**75**mm）に対応する施設です。本施設が完成すると、複数流域間での貯留量の相互融通により、1時間あたり**100**mmの局地的かつ短時間の集中豪雨に対して、調節池の下流側に効果を発揮します。

このため、善福寺川上流域の浸水被害軽減のためには、善福寺川上流地下調節池の整備が必要です。

詳しくはこちらをご覧ください。

URL:https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/kensetsu/202603zenpukuji_factqa

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

2日目 整理番号（206）

主な意見

- ◆どちらからと言えは工事には反対の気持ちもあったのですが、大変よく理解できたので、より多くの人が気軽に参加できる流れになるといいと思いました。大変ていねいなご準備、お疲れ様でした。ありがとうございました。

回答および都の考え方

- ◆引き続き、地域の皆様のご理解を得られるように丁寧な説明、情報発信に努めてまいります。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

2日目 整理番号（206）

主な意見

- ◆特にワークショップと見学会に参加したが、出た意見の多くが、すでに行われているアプローチであるもので、恥ずかしくなった。知らなかったのは私の方である。地域との関わりを増やし、続けていく必要を感じた。

回答および都の考え方

- ◆ワークショップにご参加いただき、ありがとうございます。また、ご意見をいただきありがとうございます。引き続き、地域の皆様のご理解を得られるように丁寧な説明、情報発信に努めてまいります。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

2日目 整理番号（221）

主な意見

- ◆都職員の方は知識面でのプロ、当事者だが対面コミュニケーションのプロではない。より積極的なコミュニケーションのインターフェイスとなる説明員（コンパニオンさんなど）を立てるべきでは。

回答および都の考え方

- ◆引き続き、地域の皆様のご理解を得られるように丁寧な説明、情報発信に努めてまいります。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

2日目 整理番号（227）

主な意見

- ◆ りん議書の詳細を教えてください。
自分の意見ビラを添付します。
必らず回答をいただきたい。

回答および都の考え方

- ◆ 添付書類の確認ができないため、内容の確認ができませんでした。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

2日目 整理番号（228）

主な意見

- ◆ 善福寺川緑地公園は、周辺の保育所園児の運動場所として多くの保育園が活用しています。周辺（特にロケット公園）の保育園に、工事内容の説明と、工事中の緑地活用及び行使中の安全に対する要望を聞いてあげてください。

回答および都の考え方

- ◆ 善福寺川緑地公園を利用する近隣の保育園に対しては、必要な情報を適切に周知しております。今後も、適切に周知してまいります。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

2日目 整理番号（232）

主な意見

- ◆防音フェンスは透明にすべきとの要望に明確な回答がほしい。地域住民、公園利用者にとって、安全面、景観、工事進捗の確認などが必須です。西田端橋周辺、神通橋下流側が復旧してもいないのに次期工事を開始するべきでは無い。10年近くこのエリアの未完成状態が続いている。説明会の形式によらず、決定権のある東京都の責任者が出席し、質問、要望に適宜回答すべき。

回答および都の考え方

- ◆仮囲いについては、デザイン、色など地域の皆さまの意見も参考に選定してまいります。
なかよし広場の一部については、今年度末に復旧し、仮囲いが撤去される予定です。
今回のようなオープンハウス形式の説明会は、
①幅広い時間で多くの方に参加してもらうこと
②参加者からのご質問についてより丁寧に回答
ができることから、過去の実施事例でも参加者の満足度が高いものとなっています。
来場者の中には事前に聞きたいことをメモして来場した方もいて、そのような方々の個別の質問に一つ一つ丁寧に答えできたと考えています。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

2日目 整理番号（261）

主な意見

- ◆ ワークショップは参加していないので、『どちらとも言えない』にしました。身近な地下調整池の機能を実感できて、とても有意義でした。他にも、箱式や堀込式の現場見学会があれば、事業に対する理解が進むように感じました。ありがとうございました。

回答および都の考え方

- ◆ 引き続き、地域の皆様のご理解を得られるように丁寧な説明、情報発信に努めてまいります。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

2日目 整理番号（258）

主な意見

- ◆賛成意見は少ないと思う。というのも、反対意見以外の意見を持つ人はあえて意見しないから。
治水は政治の源であり、事業に理解は示せます。ただ、東京の都心部に緑地が少なすぎて、人以外の生物が生きていく、あるいは、休息する場所として、善福寺川に広がる樹木の保全とそのエリアの拡大を望むものとして、意見をいうと思います。その時は、歩みよっていただければと思います。今日はありがとうございました。

回答および都の考え方

- ◆引き続き、地域の皆様のご理解を得られるように丁寧な説明、情報発信に努めてまいります。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

2日目 整理番号（273）

主な意見

- ◆ 東京都が認定した「農の風景育成地区」である成田西2丁目・3丁目エリアに巨大な建屋を作り、人工的な取水口を取り付け、木々を伐採して環境破壊をするとは、東京都がやっていることはむちゃくちゃですね。
そのところをどう言い逃れするのか聞いてみたいので、ぜひ西田町会のために住民説明会を開いてください。ご連絡をお待ちしています。

回答および都の考え方

- ◆ 本工事の管理棟や取水口は、「農の風景育成地区」からは外れております。
詳しくはこちらをご覧ください。
URL:<https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/information/topics/h29/04/2027041101>

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

2日目 整理番号（298）

主な意見

◆事業推進期待しています。

回答および都の考え方

◆引き続き、地域の皆様のご理解を得られるように丁寧な説明、情報発信に努めてまいります。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

2日目 整理番号（328）

主な意見

◆今回はどうもありがとうございました。

- 1)施設外の道に案内で出ておられた係員様どうもありがとうございました,迷わず辿りつけました。
- 2)係員の皆様おそらく本来はお休みの日であられると想像し,あつく御礼申し上げます。
- 3)完成した,落ち着いた,頃に,改めて現地の告知ですとか見学などをお願いできますととても幸いです。

回答および都の考え方

◆引き続き、地域の皆様のご理解を得られるように丁寧な説明、情報発信に努めてまいります。
地域にお住いの皆様、近隣の小中学校の子どもたちには工事へのご理解を深めていただける場を設けてまいります。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

2日目 整理番号（335）

主な意見

- ◆何より、できるだけ短い期間で工事を完了させていただくようお願いします。工事期間をあけることなく迅速に進めてください。該当地域を毎日使わせてもらっている者として、今回の工事により美しい木々の景観が失われるのはとても悲しいことです。一方で近年の豪雨に対する積極的な施策には感謝もしております。複雑な気持ちですが、とにかく早く終わらせて、住民の溜飲をさげるご努力をお願いいたします。ありがとうございました。

回答および都の考え方

- ◆引き続き、地域の皆様のご理解を得られるように丁寧な説明、情報発信に努めてまいります。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

2日目 整理番号（335）

主な意見

- ◆ ゆう杉並からのシャトルバスが1445から環七調整池にいても定員オーバーで見学できないとの案内があったが、行ってみるとまだまったく問題なく見学できた。間違った案内をしたことのほか、ゆう付近の住民は現時点でもっとも影響を受けるのに、早い時点で締切るのは問題。

回答および都の考え方

- ◆ 同時開催の見学対応が想定を上回り、ご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。ご好評を踏まえ、次回の参考とさせていただきます。なお、11月から5月までの期間は、下記ホームページより個別見学のご予約が可能です。

URL:https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jimusho/sanken/kasen_kanri_00001

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

2日目 整理番号（343）－①

主な意見

◆説明会について

ゆう杉からのバスに乗る際に、係の人から現場見学会は予定人数がいっぱいになったため、見学できないと言われた。事前の案内チラシには先着順などという説明は一切なく不親切だと感じた。実際に現地に到着したら見学はできると言われた。連絡不行き届きであり、運営の不備があった。

ゆう杉への帰りの最終バスは、16時45分の見学会の戻りの時間よりも早い時間に設定されており、配慮が全くなされていなかった。指摘後に17時半に最終バスを追加したが、要望を出さなかったら帰りの手段がなく途方に暮れることになっていた。また、バスの時間に関する案内の放送はあまり親切とは言えなかった。

パネルによる説明会はまったく意味がない。東京都が発信したい情報の一方通行であり、質疑応答のあるディスカッションの場にすべきである。また、説明会の案内についても周知徹底しているとは言えない。

今回の説明会は、一次工事の内容に特化しており、10年以上にわたる工事の全容やその影響についての説明にかけている。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

2日目 整理番号（343）－②

回答および都の考え方

- ◆同時開催の見学対応が想定を上回り、ご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。ご好評を踏まえ、次回の参考とさせていただきます。なお、11月から5月までの期間は、下記ホームページより個別見学のご予約が可能です。

URL:https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jimusho/sanken/kasen_kanri_00001

今回のようなオープンハウス形式の説明会は、

①幅広い時間で多くの方に参加してもらうこと

②参加者からのご質問についてより丁寧に回答

ができることから、過去の実施事例でも参加者の満足度が高いものとなっています。

来場者の中には事前に聞きたいことをメモして来場した方もいて、そのような方々の個別の質問に一つ一つ丁寧に答えできたと考えています。

また、今回の説明会については、周知範囲として合計約40,000枚のチラシを配布いたしました。

あわせて、東京都および杉並区のホームページや杉並区報への掲載、杉並区内の掲示板（25箇所）への掲示により、お知らせを行っております。

さらに、公園をご利用の皆さまに向けては、公園内でのお知らせ掲示や、近隣の幼稚園・保育施設を通じてご案内しております。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

2日目 整理番号（343）

主な意見

- ◆説明会に外国人の住民が参加していたが、説明員は住民の話す英語をまったく理解しておらず、英語での説明もできない状況であり、意思疎通が全くはかれていなかった。外国人の住民のための配慮にかける最悪のプレゼンテーションであった。
都の職員と工事業者の説明員が混在しており、非常にわかりづらかった。質問したことに適切にこたえられる人が限られていた。
本事業について工事に影響がでる周辺住民への説明が十分されず、実施の決定をする都のやり方には納得がいかない。

回答および都の考え方

- ◆都では、事業や設計、工事に関する説明会等をこれまでに計18回実施し、事業内容等について説明してまいりました。その際、住民の皆様から頂いたご意見・ご質問に関する都の考え方について、ホームページに掲載するなど事業内容の周知に努めてまいりました。
工事にあたっては、長期間・多様な工事を複数箇所を実施するため、施工時期や工事内容に適した「工事説明会を分割」し、複数回開催することとしております。
外国人住民への方には翻訳機を使用し、可能な限り意思疎通の確保に努めております。引き続き安心していただけるよう尽力してまいります。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

2日目 整理番号（349）

主な意見

- ◆そもそも現在の善福寺川は、長年の治水事業の成果によって、水害がほとんど発生しなくなったにも関わらず、巨額の税金を投じて本件工事を行う合理性はない。税金の無駄遣いでしかない。

回答および都の考え方

- ◆善福寺川流域においては、平成17年9月の集中豪雨で、1時間最大雨量112mm、24時間雨量263mmが観測され、浸水面積90.74ha、床上・床下浸水家屋が合計約1,700棟の被害が生じました。また、令和5年6月3日の台風2号では、杉並区の新井分橋観測所で1時間最大雨量50mm、24時間雨量308mmが観測され、善福寺川の西田端橋～松見橋付近で溢水が発生しております。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

2日目 整理番号（350）－①

主な意見

- ◆ 1. まだ立ち退きも終わっていないので 穴掘って終わりになりかねません。
- 2. 武蔵野市の下水が60%以上なのに、杉並区に皺寄せが来ている。井の頭線公園を使って欲しい。
- 3. シールド工法で穴が空く事故が多く、環七はストップしている。原因を究明して環七が再開してから進めて欲しい。
- 4. 1200億の工事を一社が請け負うのはおかしい。
- 5. 武蔵野市の下水が混ざるところを工夫すれば解決すると勉強会で習った。自然を壊す方法以外を模索してください。都民と会話して下さい。お願いします。
- 6. みんなで意見を出し合う。同じ時間に席のある説明会を開いてください。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

2日目 整理番号（350）－②

回答および都の考え方

- ◆ 1. 用地取得や地上権設定が必要となる場所では、早期に関係権利者の皆様のご協力を得て必要な手続きを進められるよう努めてまいります。
- 2. 神田川流域の関係区市では、流域対策の目標である時間10mmの達成に向けて、積極的に治水対策に取り組んでいます。詳しくは、ファクトシート p 11を参照ください。
- 3. 環状七号線地下広域調節池（石神井川区間）工事については、現在掘進中です。詳しくは、以下のホームページを参照ください。
URL:<http://kanzyou7.com/>
- 4. 2026年第1回都議会定例会により承認を得て、契約しております。
- 5. 2と同様
- 6. 今回のようなオープンハウス形式の説明会は、
 - ①幅広い時間で多くの方に参加してもらうこと
 - ②参加者からのご質問についてより丁寧に回答ができることから、過去の実施事例でも参加者の満足度が高いものとなっています。
来場者の中には事前に聞きたいことをメモして来場した方もいて、そのような方々の個別の質問に一つ一つ丁寧に答えできたと考えています。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

2日目 整理番号（351）

主な意見

- ◆地盤調査・家屋調査の範囲が都の要領にそって決められているとのことだったが、もう少し範囲を広げた方が良かったと思った。工事の規模や前例の少なさなどを考慮して再考して頂きたい。

回答および都の考え方

- ◆今回の説明会でお示した家屋調査の調査対象範囲については、都の要領に基づき、工事区域に沿って約30mの範囲および、立坑中心から約75mで設定しています。約75mは、立坑の底面から45度線で算定しています。なお、大型・大深度地下構造物ケーソン設計マニュアル（令和7年4月 日本圧気技術協会）に基づき算出した立坑の影響範囲は、立坑中心から約57mとなっており、今回調査範囲の約75mはこれを上回っています。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

2日目 整理番号（361）

主な意見

- ◆ 現地見学会は満員との事で参加出来ませんでした。それはしょうがないと思いますが、「稼働模型」やパネル等は見れたのでしょうか？定員一杯しか伝えられませんでした。Q7に無回答が有るのは、そのせいです。

回答および都の考え方

- ◆ 同時開催の見学対応が想定を上回り、ご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。ご好評を踏まえ、次回の参考とさせていただきます。なお、11月から5月までの期間は、下記ホームページより個別見学のご予約が可能です。
URL:https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jimusho/sanken/kasen_kanri_00001

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

2日目 整理番号（363）－①

主な意見

- ◆ 1. 工事車両を環八に集中させず、半数は環七へ分散させるようお願いします。
工事車両の通行量は尋常ではない！ピーク時ダンプ350台×往復2＝700台。
粉塵、排気ガスによる空気汚染、騒音は相当酷いことは簡単に想像できる。
この公害による喘息発症など、家族全員の体への健康被害、悪影響、洗濯物、布団への粉塵付着などの不安は募る一方。空気汚染による健康被害が一極集中にならないよう、工事車両の分散実行をお願いします。
- 2. 工事車両が通行する沿道についても空気汚染、粉塵、騒音計測値を設置し、常時基準値の管理をお願いします。
- 3. 土砂の搬送時に粉塵が沿道に撒うことのないよう、土砂には必ずカバーをお願いします。
- 4. 工事車両通行時の安全対策について具体案の提示をお願いします。
- 5. 交通渋滞を起こさない、具体案の提示をお願いします。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

2日目 整理番号（363）－②

回答および都の考え

- ◆ 1. 工事中は渋滞が発生しないよう工事計画を立てて走行します。例えば、工事車両位置、渋滞情報及び現場の混雑状況の常時把握等です。なお、工事車両の路上駐車は行いません。
- 2. 今後、発進立坑工・シールド工の施工方法がまとまり次第、改めてご案内いたします。
- 3. 同上
- 4. 近隣の方や公園利用者、子供の通学の安全確保として、公園内の工事範囲は仮囲いで囲う予定です。工事車両の出入り時は交通誘導員を配置し、安全対策を行い、歩行者等の安全には十分留意します。今後、発進立坑工・シールド工の施工方法がまとまり次第、改めてご案内いたします。
- 5. 今後、発進立坑工・シールド工の施工方法がまとまり次第、改めてご案内いたします。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

2日目 整理番号（363）－③

主な意見

- ◆6. パネル、パンフレットは良かったが、お金をかけすぎ。写真、紙などの素材もこんなに高品質にする必要は全くない。
工事全般の予算に関しても同じなのではないか？
都民の税金を使う以上、お金をかける/節約するを適切に判断していただきたい。
- 7. この工事は工事車両が通行する沿道住民に周知徹底されていない。通行車両数、騒音、粉塵などによる空気汚染を減少させる具体的な対策案について、沿道住民全戸へ、提示、案内をお願いします。

回答および都の考え方

- ◆6.引き続き、地域の皆様のご理解を得られるように丁寧な説明、情報発信に努めてまいります。
- 7.R7.11月の設計説明会にて説明させていただいております。
詳しくはこちらをご覧ください。

URL:<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/kensetsu/2025-11-28-130726-683>（P33）

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1日目 整理番号なし（1頁目）

主な意見	回答および都の考え方
◆ 今回ロケット公園の在り方について説明を聞きましたが、遊具の選定、イスや水飲み場をなくす（減らす）等誰のための公園にしたいのかが見えないことは重大な問題であると思います。私の家の近くにある関根文化公園も同じようになるのではないかととても心配です。公園はタダあれば良いという場所ではなく、子どもたちが遊ぶを通じて成長する場だと思います。その場が大人の都合で決められては魅力も気力も失われてしまいます。ロケット公園については工事工程が迫っているため、今から設計変更することはできないと思いますが、関根はまだ1年あるわけですから、東京都及び杉並区の方で利用者である子どもたちから意見を聞いて、子どもたちにとって魅力的な公園にしてほしいと思います。最後に、職員の方はいつも「ご意見を頂戴して」と言いますが、聞くだけではなく反映することを求めます。 （今回の遊具移設については、意見を聞いてないことで本当に残念ですし、関根では同じことをしないよう強く求めます。）	関根文化公園においても工事期間中は、河川上に栈橋を設置するなど施工方法を工夫し、公園として利用できる範囲を可能な限り確保する設計としています。 また、工事期間中の公園内の遊具の設置など、詳細については、杉並区と協議し、地域の皆さまのご意見も踏まえて検討していきます。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1日目 整理番号なし（2頁目）

主な意見	回答および都の考え方
◆ 住民の幸福に目を向けて下さい。 これは税金の無駄。 もっと真こくな問題がもっとある。	神田川流域における豪雨対策は、神田川流域豪雨対策計画等に基づき、雨水流出抑制対策や、下水道の内水氾濫対策、河川の洪水対策など、各主体が連携して総合的に取り組んでいます。具体的には、流域自治体等は、雨水の流出を抑制するために、雨水貯留施設や浸透施設を設置する等の流域対策を進めています。 下水道は、河川の流せる能力にあわせて、下水道の整備を行うとともに、雨水の流出抑制などを進めていくことで、河川への負荷を低減する等の対策を行っています。 河川は、河道や調節池等の整備による洪水対策を着実に進め、川で流せる能力を向上させることで、地表面や下水道から流入する洪水を下流に安全に流す対策を行っています。 本調節池等の整備など河川の整備が進むことで、河川からの溢水被害を防ぐとともに、下水道の放流量を段階的に増量することができることから、内水被害の軽減にも効果が期待できると考えています。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号なし（3 頁目）

主な意見	回答および都の考え方
◆ お疲れ様です。今日はありがとうございます。 善福寺川の拡幅工事が終わらないのに調節池工事が始まることで、住民の不安が増えるのでは？ 掘削の工程で毒ガスが発生するといううわさがあり、不安をあおっている。 不安を取り除くために、説明は必要だが、皆さんを納得させるのは、たいへんかも。 応援しております。 ◆ 騒音、振動により、毎日の生活へのえいきょうが心配される。 そのストレスによって体調不良になった際はどのような対応をとってくれるのでしょうか。	川沿いにビルや住宅が立ち並ぶ都心では、河道拡幅を伴う整備において、用地買収に当たり近隣の方々の協力を得ながら進める必要があるため、多くの時間を要します。 これに対し、トンネル式調節池は、道路下などの公共用地を活用して設置できることから、用地買収を最小限に抑えながら、水害に対する安全性を早期に向上できます。 引き続き、地域の皆様のご理解を得られるように丁寧な説明、情報発信に努めてまいります。 工事によるものと疑われた場合は、まずは、【工事に関する問い合わせ窓口】（平日9:00～17:00）までご連絡ください。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号なし（4 頁目）

主な意見	回答および都の考え方
◆ 個別の説明だけでは、工事の全体像が理解できない。 全体の説明ができない説明会など開催意味がない	都では、事業や設計、工事に関する説明会等をこれまでに計18回実施し、事業内容等について説明してまいりました。その際、住民の皆様から頂いたご意見・ご質問に関する都の考え方について、ホームページに掲載するなど事業内容の周知に努めてまいりました。 工事にあたっては、長期間・多様な工事を複数箇所を実施するため、施工時期や工事内容に適した「工事説明会を分割」し、複数回開催することとしております。事業などの全体の内容については、過去の説明会資料をご確認ください。 URL:https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/river/chusho_seibi/zenpukuji

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1日目 整理番号なし（5頁目）

主な意見	回答および都の考え方
◆ 自転車をとめる所がない 障害者用トイレがない 高齢者が長時間立ちんぼう→イスを用意する 以上改善してください ◆ 担当者のレベルが低すぎ。権限のない係員が気の毒。 かつて人命が脅かされたことのない水害への対応は 不要。	施設の状況や利用規則に基づき対応しているため、個別の事情による対応が難しいところです、何卒ご理解のほどよろしく申し上げます。 今回のようなオープンハウス形式の説明会は、 ①幅広い時間で多くの方に参加してもらうこと ②参加者からのご質問についてより丁寧に回答ができることから、過去の実施事例でも参加者の満足度が高いものとなっています。 来場者の中には事前に聞きたいことをメモして来場した方もいて、そのような方々の個別の質問に一つ一つ丁寧に答えできたと考えています。 善福寺川流域においては、平成17年9月の集中豪雨で、1時間最大雨量112mm、24時間雨量263mmが観測され、浸水面積90.74ha、床上・床下浸水家屋が合計約1,700棟の被害が生じました。また、令和5年6月3日の台風2号では、杉並区の新井分橋観測所で1時間最大雨量50mm、24時間雨量308mmが観測され、善福寺川の西田端橋～松見橋付近で溢水が発生しております。一方で、善福寺川の下流部では複数の既存調節池が効果を発揮し、溢水による浸水被害を防ぎました。このように、河道整備とともに調節池の整備を進めていくことが重要です。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1日目 整理番号なし（6頁目）

主な意見	回答および都の考え方
◆ 【要望事項】 善福寺川上流地下調節池 管理施設の整備に関するまとめ 1. 景観・形状：公園になじむ「地下化」と「緑化」 地上構造物の最小化: 主要設備を可能な限り地下へ配置し、地上部分のボリュームを抑えること。 徹底した壁面・屋上緑化: コンクリートの露出を避け、公園の既存樹木と一体化するよう、地域に自生する植物を用いた緑化を行うこと。 地形としての活用: 施設を単なる建物ではなく「公園内の丘」のように整備し、高低差を活かした設計にすること。 2. 公園機能：川が見える「展望」と「憩い」 展望スポットの創出: 善福寺川の桜並木や流れを眺望できる「川が見える高さ」の屋上テラスを整備すること。 地域コミュニティ空間: 学習施設のような屋内施設は不要。代わりに、散策者が休憩でき、小規模な地域活動や交流が生まれる半屋外の「屋根付き広場（ガゼボ）」を設置すること。 3. 維持管理：実務動線の「多目的」利用 クレーン導線の共用: メンテナンス用のクレーン進入路は、荷重に耐えうる「補強芝生（グラス・パーキング）」等を採用し、平時は多目的広場として開放すること。	環境や景観に配慮して、施設を整備予定です。 詳しくはこちらをご覧ください。 URL:https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/document/s/d/kensetsu/202603zenpukuji_fact ※P14 都立善福寺川緑地 P16 区立関根文化公園 管理棟のデザインのご要望については、公園管理者や杉並区と協議し、地域の皆さまのご意見も踏まえて検討していきます。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1日目 整理番号なし（7頁目）

主な意見	回答および都の考え方
4. 防災：日常に溶け込む「防災拠点」 高台避難機能: 施設上部を、浸水時の緊急一時避難場所として活用できる設計にすること。 実用的な防災設備: 景観に配慮しつつ、非常用電源（スマホ充電）、マンホールトイレ、防災倉庫など、地域が必要とする機能を組み込むこと。	環境や景観に配慮して、施設を整備予定です。 詳しくはこちらをご覧ください。 URL:https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/document/s/d/kensetsu/202603zenpukuji_fact ※P14 都立善福寺川緑地 P16 区立関根文化公園 管理棟のデザインのご要望については、公園管理者や杉並区と協議し、地域の皆さまのご意見も踏まえて検討していきます。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1日目 整理番号なし（8頁目）

主な意見	回答および都の考え方
◆ 皆さんが強く要望されている着座式の説明会を開催されない理由を説明してほしい。 ◆ 住民に寄り添うという2年前の約束は全く行われていないと思った。 毎日公園を歩くたびに、なぜこの公園を潰すのかいまだにわからない。 科学的根拠を差し出しても、住民の声をあげても全く反応しないのは常識的に考えても非人間的であると思う。2年間の間、どんな話し合いを都はしてきたのか知りたいです。工事による被害、影響が出ることがわかっていて着手するのは都民、国民として納得いきません。他の方法・場所変えなど、チョイスがありながらやらないのはなぜですか？	今回のようなオープンハウス形式の説明会は、 ①幅広い時間で多くの方に参加してもらうこと ②参加者からのご質問についてより丁寧に回答ができることから、過去の実施事例でも参加者の満足度が高いものとなっています。 来場者の中には事前に聞きたいことをメモして来場した方もいて、そのような方々の個別の質問に一つ一つ丁寧に答えできたと考えています。 都では、事業や設計、工事に関する説明会等をこれまでに計18回実施し、事業内容等について説明してまいりました。その際、住民の皆様から頂いたご意見・ご質問に関する都の考え方について、ホームページに掲載するなど事業内容の周知に努めてまいりました。 工事にあたっては、現場条件を考慮し、近隣にお住まいの方々の日常生活に対して、影響が少なくなるよう安全・安心な施工を目指していきます。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1日目 整理番号なし（9頁目）

主な意見	回答および都の考え方
◆ 原寺分橋周辺の詳細設計における重大な問題が未解決のまま、せきれい橋周辺で準備工事のみ先行して着手しようとしている点について、事業の根拠が失われた状態で工事を進めていると言わざるを得ません。原寺分橋取水口の現行設計では、大雨時の必要水量を取水できないことが東京都自身の水理模型実験で明らかになっている。 東京都が委託し作成した「2023年7月 善福寺川上流調節池工事に伴う水理模型実験報告書」において、現行設計の取水能力では大雨時の大量流入に対応できないことが示されています。つまり、機能しない可能性の高い施設を建設しようとしていることになりす。 この事実は、東京都が従来から説明してきた「氾濫危険地域の上流に取水口を設置することが基本条件」という事業の根幹を自ら否定するもの。 取水口が機能しない設計である以上、事業の前提条件そのものが崩れています。 こうした根幹に関わる問題があるにもかかわらず、東京都は説明会で一切触れていない。 前回（4/17）および前々回（11/20）の説明会でも、原寺分橋周辺の設計仕様について説明はなく、住民としては「問題点を意図的に伏せているのではないか」と疑念を抱かざるを得ません。	水理模型実験の結果、原寺分橋下流における取水は可能となっております。 原寺分橋直下流の右岸には雨水の吐口があり、この吐口から善福寺川上流域に降った雨水が放流されています。善福寺川の氾濫を防ぐためには当箇所での取水が有効であり、被害の軽減に大きな効果があると考えています。 原寺分橋の詳細設計に関しては、適切な時期にご説明いたします。 2026年第1回都議会定例会により承認を得て、契約しております。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1 日目 整理番号なし（10 頁目）

主な意見	回答および都の考え方
◆ それにもかかわらず、総額1,290億円の特命随意契約が3/2の委員会で一括審議され、そのまま議会を通過している。 事業の根幹に関わる問題が未解決のまま巨額の契約が進められていることは、行政手続きとして適正さを欠いています。 以上の点から、東京都には事業の前提条件に関わる情報の全面的な開示と、適正な手続きに基づく事業の進め方を強く求めます。	水理模型実験の結果、原寺分橋下流における取水は可能となっております。 原寺分橋直下流の右岸には雨水の吐口があり、この吐口から善福寺川上流域に降った雨水が放流されています。善福寺川の氾濫を防ぐためには当箇所での取水が有効であり、被害の軽減に大きな効果があると考えています。 原寺分橋の詳細設計に関しては、適切な時期にご説明いたします。 2026年第1回都議会定例会により承認を得て、契約しております。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1日目 整理番号なし（11頁目）

主な意見	回答および都の考え方
◆ このように住民理解が得られていない事業は、少なくとも対象地域の住民の半数以上の理解を得てから実施すべき。この事業がどうしてもその必要がある。地域のためになるという合理的な説明を、何年かかっても粘り強く継続すべき。特に、住居の立ち退きを伴う強制執行は絶対反対。 ◆ 善福寺川河川工事を全地域で俯瞰して考え 工事投資に対して十分な効果があると言ふことの検証。加えて本事業の水量が高まる原因の発端は武蔵野市の大雨時の雨水汚水の60%が善福寺川に流れ込む事にあります。 ここを武蔵野市と共に解決しなければ対処療法(工法)であって費用対効果が見込める根本の解決は望めません。ぜひご検討頂き原寺部橋付近の住民にもご説明頂きたくお願い致します。	都では、事業や設計、工事に関する説明会等をこれまでに計18回実施し、事業内容等について説明してまいりました。その際、住民の皆様から頂いたご意見・ご質問に関する都の考え方について、ホームページに掲載するなど事業内容の周知に努めてまいりました。 神田川流域における豪雨対策は、神田川流域豪雨対策計画等に基づき、雨水流出抑制対策や、下水道の内水氾濫対策、河川の洪水対策など、各主体が連携して総合的に取り組んでいます。具体的には、流域自治体等は、雨水の流出を抑制するために、雨水貯留施設や浸透施設を設置する等の流域対策を進めています。 費用便益比については、詳しくはこちらをご覧ください。 URL:https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/document/s/d/kensetsu/202603zenpukuji_fact (P12) 近隣区市の対策については、詳しくはこちらをご覧ください。 URL:https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/document/s/d/kensetsu/202603zenpukuji_factqa (P9) 今後も皆様のご理解を得られるよう努めてまいります。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1日目 整理番号なし（12頁目）

主な意見	回答および都の考え方
◆ この工事は長期間に及び一部の住民への負担が高すぎ、また住環境に対する悪影響が大きいと感じている。なぜこのような不公平で大きな工事が必要か、オープンハウス形式ではなく、他の参加者の方の意見も聞けるようなQ&A形式の説明会を開催してほしい。	本工事において、住民の皆さま方にご不便・ご不安をおかけし申し訳ございません。 都では、事業や設計、工事に関する説明会等をこれまでに計18回実施し、事業内容等について説明してまいりました。その際、住民の皆様から頂いたご意見・ご質問に関する都の考え方について、ホームページに掲載するなど事業内容の周知に努めてまいりました。 今回のようなオープンハウス形式の説明会は、 ①幅広い時間で多くの方に参加してもらうこと ②参加者からのご質問についてより丁寧に回答ができることから、過去の実施事例でも参加者の満足度が高いものとなっています。 来場者の中には事前に聞きたいことをメモして来場した方もいて、そのような方々の個別の質問に一つ一つ丁寧に答えできたと考えています。 今後も皆様のご理解を得られるよう努めてまいります。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1日目 整理番号なし（13頁目）

主な意見	回答および都の考え方
◆ 善福寺川流域だけではB/Cが1を下回り、内水氾濫にも効果が期待できないのに、強引に進めるやり方に、工事の影響を受ける地元住民として、反対。立ち退きや個人宅の真下を巨大トンネルが通るような工事ではなく、武蔵野市の下水道合流の問題なども含めて、総合的河川対策を再検討を要望。グリーンインフラの活用を進めて環境にも地元住民にも悪影響の少ない工事に変更して欲しい。	神田川流域における豪雨対策は、神田川流域豪雨対策計画等に基づき、雨水流出抑制対策や、下水道の内水氾濫対策、河川の洪水対策など、各主体が連携して総合的に取り組んでいます。 具体的には、流域自治体等は、雨水の流出を抑制するために、雨水貯留施設や浸透施設を設置する等の流域対策を進めています。 下水道は、河川の流せる能力にあわせて、下水道の整備を行うとともに、雨水の流出抑制などを進めていくことで、河川への負荷を低減する等の対策を行っています。 河川は、河道や調節池等の整備による洪水対策を着実に進め、川で流せる能力を向上させることで、地表面や下水道から流入する洪水を下流に安全に流す対策を行っています。 本調節池等の整備など河川の整備が進むことで、河川からの溢水被害を防ぐとともに、下水道の放流量を段階的に増量することができることから、内水被害の軽減にも効果が期待できると考えています。 なお、費用便益比については、詳しくはこちらをご覧ください。 URL:https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/document/s/d/kensetsu/202603zenpukuji_fact（P12）

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1日目 整理番号なし（14頁目）

主な意見	回答および都の考え方
◆ 次世代に負の遺産は残したくありません。 今すぐ見直しをしてください。 説明会が平日の夜1度だけのオープンハウスでは全く足りません。 不誠実です。 この工事を知らない方も大勢いらっしゃいます。 区民全員に案内を配るべきです。 そのうえで着座式の説明会をするべきだと思います。 それと、なぜ資料の番号を書く必要があるのですか？ 失礼だと感じました。	都では、事業や設計、工事に関する説明会等をこれまでに計18回実施し、事業内容等について説明してまいりました。その際、住民の皆様から頂いたご意見・ご質問に関する都の考え方について、ホームページに掲載するなど事業内容の周知に努めてまいりました。 今回のようなオープンハウス形式の説明会は、 ①幅広い時間で多くの方に参加してもらうこと ②参加者からのご質問についてより丁寧に回答ができることから、過去の実施事例でも参加者の満足度が高いものとなっています。 来場者の中には事前に聞きたいことをメモして来場した方もいて、そのような方々の個別の質問に一つ一つ丁寧に答えできたと考えています。 整理番号を設けることで、一人ひとりのご質問に丁寧にご回答し、HPにて公開するためです。 今後も皆様のご理解を得られるよう努めてまいります。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1日目 整理番号なし（15頁目）

主な意見	回答および都の考え方
◆ 工事中止と、水害対策の再考を求めます。	神田川流域における豪雨対策は、神田川流域豪雨対策計画等に基づき、雨水流出抑制対策や、下水道の内水氾濫対策、河川の洪水対策など、各主体が連携して総合的に取り組んでいます。 具体的には、流域自治体等は、雨水の流出を抑制するために、雨水貯留施設や浸透施設を設置する等の流域対策を進めています。 下水道は、河川の流せる能力にあわせて、下水道の整備を行うとともに、雨水の流出抑制などを進めていくことで、河川への負荷を低減する等の対策を行っています。 河川は、河道や調節池等の整備による洪水対策を着実に進め、川で流せる能力を向上させることで、地表面や下水道から流入する洪水を下流に安全に流す対策を行っています。 本調節池等の整備など河川の整備が進むことで、河川からの溢水被害を防ぐとともに、下水道の放流量を段階的に増量することができることから、内水被害の軽減にも効果が期待できると考えています。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

1日目 整理番号なし（16頁目）

主な意見	回答および都の考え方
◆ 改めて、着座で一堂に会する場での説明会の開催を要求する。 家屋調査についても、立坑の1kmの範囲の希望する住民を着座で一堂に会する場で説明会を行うことを要求する。	今回のようなオープンハウス形式の説明会は、 ①幅広い時間で多くの方に参加してもらうこと ②参加者からのご質問についてより丁寧に回答ができることから、過去の実施事例でも参加者の満足度が高いものとなっています。 来場者の中には事前に聞きたいことをメモして来場した方もいて、そのような方々の個別の質問に一つ一つ丁寧に答えできたと考えています。 今後も皆様のご理解を得られるよう努めてまいります。 家屋調査は、建物ごとの状況や構造を踏まえながら実施する調査です。また、調査項目や手法の説明についても、実際の建物の状況を踏まえて説明する必要があることから、説明会形式ではなく、各戸ごとに内容をご説明し、ご意見を伺いながら実施してまいります。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

2日目 整理番号なし（1頁目）

主な意見	回答および都の考え方
◆ 現場見学会に対する想定が甘い。予約不要なのに実際に行ったら見学会が1時間毎しか開催しておらず何時間も待たせるとかバカすぎる。事前に見学会の希望調査をすとかしておけばいいのに。何時間も待たせるくせに休憩スペースを用意していないのもダメ。広報のレベルが低い。説明会の段取りが悪いので工事もダメそうというイメージを植え付けられた。 ◆ とても丁寧かつ細やかな説明をしていただき大変満足です。	同時開催の見学対応が想定を上回り、ご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。ご好評を踏まえ、次回の参考とさせていただきます。なお、11月から5月までの期間は、下記ホームページより個別見学のご予約が可能です。 URL:https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jimusho/sanken/kasen_kanri_00001 引き続き、地域の皆様のご理解を得られるように丁寧な説明、情報発信に努めてまいります。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

2日目 整理番号なし（2頁目）

主な意見	回答および都の考え方
◆ This solution is not OK by local residents, and yet we feel that our voice is not being heard. The project will proceed no matter how much we protest, how much we try to stop it. This is not a legal or just process. （この解決策は地域住民に受け入れられておらず、それにもかかわらず、私たちの声は聞き入れられていないと感じています。私たちがどれだけ抗議しても、どれだけ止めようとしても、この計画は進められてしまいます。これは法的にも、公正なプロセスでもありません。） ◆ This is unfair and unjust. This is not the only solution to the problem. Local residents deserve to be made aware of plans before decisions are made. If not, local residents deserve to be fairly compensated for damages. （これは不公平で不当です。また、これが唯一の解決策ではありません。地域住民は、決定が下される前に計画について十分に知らされるべきです。もしそれがなされないのであれば、地域住民には被害に対して適切な補償がなされるべきです。） ※事務局にて和訳	都では、事業や設計、工事に関する説明会等をこれまでに計18回実施し、事業内容等について説明してまいりました。その際、住民の皆様から頂いたご意見・ご質問に関する都の考え方について、ホームページに掲載するなど事業内容の周知に努めてまいりました。 事業などの全体の内容については、過去の説明会資料をご確認ください。 URL:https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/river/chusho_seibi/zenpukuji 【To date, the Metropolitan Government has held a total of 18 information sessions regarding the project, its design, and construction, during which we have provided explanations about the project details. We have also made efforts to ensure public awareness of the project by posting the Metropolitan Government's responses to residents' comments and questions on our website. For details on the overall project, please refer to the materials from past information sessions.】 ※事務局にて英訳

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

2日目 整理番号なし（3頁目）

主な意見	回答および都の考え方
◆ 今、説明会の主題とは異なる工事手法や技術面についても、スタッフの方に答えていただき、大変ありがとうございました。 全体としても丁寧で良かったです。 ◆ 住民との意見交換皆無 法定事項の「ていねいな説明」（懐柔）のみ 広報エリア（チラシ）を広げろ 知らない人多数。外環のシールドもこかかを、不安しかない	引き続き、地域の皆様のご理解を得られるように丁寧な説明、情報発信に努めてまいります。 都では、事業や設計、工事に関する説明会等をこれまでに計18回実施し、事業内容等について説明してまいりました。その際、住民の皆様から頂いたご意見・ご質問に関する都の考え方について、ホームページに掲載するなど事業内容の周知に努めてまいりました。 今回の説明会については、周知範囲として合計約40,000枚の案内（チラシ）を配布いたしました。あわせて、東京都および杉並区のホームページや杉並区報への掲載、杉並区内の掲示板（25箇所）への掲示により、お知らせを行っております。 また、公園をご利用の皆さまに向けては、公園内でのお知らせ掲示や、近隣の幼稚園・保育施設を通じてご案内しております。

頂いたアンケートに対する回答および都の考え方

2日目 整理番号なし（4頁目）

● 主な意見	回答および都の考え方
◆ 調節池の見学時刻が決まっているのなら、なぜ事前案内のパンフに書いておかないのか。「13時から17時まで自由に見学できる」と思うのではないか。1時間近くムダに待つことになった。考えが足りなすぎる。 ◆ 時間の関係で実物見学できなかったのもたの機会に実施していただきたいです。大工事をまのあたりにした事がないので、今気づいていない不安事項、不明事項があるので、継続的に説明会をしていただきたいと思います。	同時開催の見学対応が想定を上回り、ご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。ご好評を踏まえ、次回の参考とさせていただきます。なお、11月から5月までの期間は、下記ホームページより個別見学のご予約が可能です。 URL:https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jimusho/sanken/kasen_kanri_00001 同時開催の見学対応が想定を上回り、ご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。ご好評を踏まえ、次回の参考とさせていただきます。なお、11月から5月までの期間は、下記ホームページより個別見学のご予約が可能です。 URL:https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jimusho/sanken/kasen_kanri_00001 工事にあたっては、長期間・多様な工事を複数箇所で実施するため、施工時期や工事内容に適した「工事説明会を分割」し、複数回開催することとしております。